

次のとおり公募型プロポーザル方式により委託業務の受託者を選定するので、公告します。

令和6年7月11日

大阪・関西万博奈良県実行委員会 会長 山下 真

第1 公募型プロポーザル方式に付する事項

1 業務名

2025年大阪・関西万博を契機としたブランディング事業業務委託

2 業務の目的

本業務の目的は2025年大阪・関西万博（以下「万博」という）開催期間中に実施するクラフトフェアにおいて、出展事業者の掘り起こし及び当該事業者のもつ技術・商品のブランディングに係る業務を実施することである。

3 業務の内容

- (1) ブランディング対象事業者のリサーチ
- (2) リサーチした技術・商品のブラッシュアップ

4 委託限度額

6,000,000円（消費税及び地方消費税の額を含む。）

5 業務の仕様等

第4の2により配布する「2025年大阪・関西万博を契機としたブランディング事業業務委託公募型プロポーザル実施要領」（以下「実施要領」という。）及び「2025年大阪・関西万博を契機としたブランディング事業業務委託 業務仕様書」（以下「仕様書」という。）に示すところによる。

6 委託業務実施期間

契約締結の日から令和7年3月31日

7 担当部局（書類の提出先及び問合せ先）

大阪・関西万博奈良県実行委員会事務局（奈良県総務部知事公室万博推進室内）
（奈良市登大路町30番地）

第2 提案者の参加資格

この提案に参加できる者は、次に掲げる要件のすべてを満たす者とする。

- 1 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。
- 2 国税及び地方税を滞納していない者であること。
- 3 企画提案書の提出時点において、奈良県物品購入等の契約に係る入札参加停止等措置要領による入札参加停止の期間中でない者であること。
- 4 会社更生法（平成14年法律第154号。以下「新法」という。）第17条第1項又は第2項の規定による会社更生手続開始の申立て（新法附則第2条の規定によりなお従前の例によることとされる更生事件（以下「旧更正事件」という。）に係る同法による改正前の会社更生法（昭和27年法律第172号。以下「旧法」という。）第30条第1項又は第2項の規定による更生手続開始の申立てを含む。）をしていない者又は申立てをなされていない者であること。ただし、新法に基づく更生手続開始の決定（旧更正事件に係る旧法に基づく更生手続開始の決定を含む。）を受けた者については、更生手続開始の申立てをしなかった者又は申立てをなされなかった者とみなす。
- 5 平成12年3月31日以前に民事再生法（平成11年法律第225号）附則第2条による廃止前の和議法（大正11年法律第72号）第12条第1項の規定による和議開始の申立てをしていない者であること。
- 6 平成12年4月1日以後に民事再生法第21条の規定による再生手続開始の申立てをしていない者又は申立てをなされていない者であること。ただし、同法に基づく再生手続開

始の決定を受けた者であっても、再生計画の認可の決定を受けた者については、再生手続開始の申立てをしなかった者又は申立てをなされなかった者とみなす。

- 7 役員等（法人にあっては役員（非常勤の者を含む。）、支配人及び支店又は営業所（常時契約に関する業務を行う事務所をいう。以下同じ。）の代表者を、個人にあってはその者、支配人及び支店又は営業所の代表者をいう。以下同じ。）が暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）でないこと。
- 8 暴力団（法第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していないこと。
- 9 役員等が、その属する法人等、自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で、又は第三者に損害を与える目的で、暴力団又は暴力団員を利用していないこと。
- 10 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等直接的若しくは積極的に暴力団の維持及び運営に協力し、又は関与していないこと。
- 11 上記9及び10に掲げる場合のほか、役員等が暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していないこと。
- 12 過去5年間（平成31年4月1日から令和6年3月31日までの間）において、本業務と同種及び同規模以上の業務を受託し、適正に履行した実績を有すること。
※同種業務：ブランディング・コンサルティング業務
※同規模以上の業務：契約金額が委託限度額の同額以上の業務
※共同企業体（JV）による参加の場合は、次に掲げる要件のすべてを満たす者とする。
（1）共同企業体の全ての構成企業が上記1から11の条件を満たしていること。
（2）共同企業体のうちいずれかの構成企業により、上記12の条件を満たしていること。

第3 失格事項

参加者が次のいずれかに該当するときは失格とする。

- 1 第2の参加資格に定めた資格が備わっていないとき。
- 2 複数の提案書を提出したとき。
- 3 提出のあった提案書等が、様式及び記載上の注意事項に示された内容に適合せず、その補正に応じないとき。
- 4 提出書類に虚偽又は不正があったとき。
- 5 提案書等の提出期限までに所定の書類が整わなかったとき。
- 6 提案書の見積額が、第1の4の委託限度額を超えるとき。
- 7 その他不正な行為があったとき。

第4 参加手続等

- 1 担当課（書類の提出先及び問合せ先）
〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30番地（奈良県庁本庁舎5階）
大阪・関西万博奈良県実行委員会事務局（奈良県総務部知事公室万博推進室内）
TEL：0742-27-8083（直通）
FAX：0742-22-8012
E-mail：banpaku@office.pref.nara.lg.jp
- 2 実施要領及び仕様書の配布
令和6年7月11日（木）から同月25日（木）の午後5時までの間に1の担当課又はインターネットの奈良県万博推進室ホームページにて配布する。
ただし、担当課における配布は、正午から午後1時までを除く午前9時から午後5時までとし、奈良県の休日を定める条例（平成元年3月奈良県条例第32号）第1条に規定する県の休日（以下「県の休日」という。）を除く。
- 3 説明会

本プロポーザルの実施に係る説明会は行わない。

- 4 仕様書等に関する質問
2の実施要領に示すところによる。
- 5 参加申込書の提出
2の実施要領に示すところによる。
- 6 企画提案書の提出
2の実施要領に示すところによる。
- 7 提案者が2者に達しない場合の取扱
2の実施要領に示すところによる。

第5 委託候補者の特定

第4の2の実施要領に示すところにより、提出された企画提案資料等について、書類審査、提案者からのプレゼンテーション及び提案者との質疑応答を行い評価基準に基づき評価する。

第6 その他

- 1 契約手続において使用する言語及び通貨
日本語及び日本国通貨とする。
- 2 本受託募集参加に係る経費
企画提案に係る一切の経費は、提案者の負担とする。
- 3 その他
詳細は第4の2の実施要領及び仕様書に示すところによる。